

令和5年度 こども園における自己評価

ひいらぎこども園	評価者数	49人
----------	------	-----

A : 大変よい	B : よい
C : 一部検討を要する	D : 改善を要する

項目	内 容	評 価				○意見・★改善点
		A	B	C	D	
目標について 教育・保育	(1) 法人理念・教育保育目標の具現化に向け、園児の実態に即した目指す子ども像を設定しているか。		○			○目指す子ども像を常に念頭において、指導計画を立てている。
	(2) 法人理念、教育・保育目標、目指す子ども像は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
教育・保育について 指導計画	(1) 全体的な計画は子どもの姿を基に作成しているか。	○				○子どもの姿や実態に合わせて作成している。 ○(0歳)食べる時間、寝る時間を一人ひとりのリズムに合わせることができた。 ○月週案のめあては、今の子どもの姿をもとに、担任全員で話し合い、日々の活動を考えている。 ○おうちえん「ドキュメンテーション」を使って、日々の子どもの活動を発信した。 ★支援を必要とする子どもの対応について、保育者間で話し合えるように、時間を作る。
	(2) 年間目標や月のめあては、園の教育・保育の目標・目指す子ども像を基に設定しているか。	○				
	(3) 1日の流れデイプログラム等は毎年見直しをしているか。	○				
	(4) 保育者間で、活動のめあて・活動計画・支援を必要とする子どもへの対応についてしっかりと共有し、教育・保育を行っているか。	○				
	(5) 子どもの生活や遊びを通した学びがどのような資質・能力を伸ばすことにつながっているのかについて、常に頭におきながら、連絡帳やブログ等を書いているか。		○			
	(6) 計画・実施・評価・改善(PDCAサイクル)を常に意識しているか。		○			
保育者としての姿勢	(1) 子ども一人ひとりの人格を尊重して教育・保育を行っているか。	○				○子どもたちの遊びが広がるように、子どもの声を聴きながら、環境を工夫した。 ○子どもの発見や意見などを注意深く拾い記録し次の活動につなげていくように意識した。それを、わかりやすくエピソードにまとめることを学んだ。 ○職員会議で人権について研修し、改めて子ども一人ひとりを尊重する保育に努める大切さと責任を感じた。
	(2) 子どもの主体的な活動を促す環境構成を常に工夫しているか。	○				
	(3) 子どもの活動や学びを広め、深める援助を行っているか。	○				
	(4) 自然の変化を敏感に受け止め、活動に取り入れているか。		○			
	(5) エピソード記録を書くことによって、子どもの育ちを見極め、自分の保育の見直しに努めているか。 (学期に1枚以上は作成)		○			
	(6) 子どもの見本となるような人権意識・言葉遣い・姿勢・整理整頓・身だしなみ等、様々なことへのチャレンジを心がけているか。	○				

教育・保育について	行事について	(1) 行事や園外保育の在り方について、教育・保育目標の具現化(注1)において適切であるかどうか見直しをしているか。		○			○行事は、子どもの日常のあそびの発展を考えて、子どもの声を聴きながら進めることができ、行事が終わっても、遊びがつながっていった。 ○園だよりやドキュメンテーションで、活動の意味を伝えている。
		(2) 普段の遊びを行事に生かし、子どもが意欲的に取り組み、その後も継続するような活動となっているか。	○				
		(3) 保護者の願いや意見を参考に行事を考えているか。	○				
		(4) 写真や動画などを活用して、背景にある保育者の意図が伝えられているか。		○			
同僚性		(1) 一人一人が、自分の役割を理解し、責任を持って果たすよう努力しているか。	○				○自分のクラスだけでなく、職員全体で子どもたちを見守ることができた。 ○お互いに良いところを言葉にして褒めたり、安心できるように声をかけていた。 ○気づきや、困りをすぐに伝えられたり、気軽に相談できたりする場を作っている。 ★定期的にエピソード記録を活用していきたい。
		(2) 子どもの他愛のない行動や子どもとの関わり方を常に話題にし、意見を出し合っているか。	○				
		(3) 活動のアイデアなどを学び合い、教え合っているか。	○				
		(4) 互いの良さや努力を認め合い、感謝の気持ちや称賛・憧れの気持ちを伝え合っているか。	○				
		(5) 他の職員の仕事を進んでフォローしているか。	○				
		(6) 考えが異なる相手にも積極的に話しかけ、質問・疑問を投げかけて理解しようとしているか。	○				
園長の役割		(1) 各職員の持ち味や長所に目を向けて褒め、それを伝えること率先して行っているか。	○				○ブログ・研修レポート・エピソード等を見て、丁寧な記録や記述を、全職員に紹介し、共有するようにしている。 ○子どもの声・職員の願いは可能な限り実現できるように応援している。
		(2) 各クラスの教育・保育や職員の思い・考えを肯定的に受け止め、チャレンジを後押ししているか。	○				
		(3) 園の課題に応じ、自治体や法人等との改善の方策に関する協議や、関係機関との連携を主体的に行っているか。	○				
副園長・主幹保育教諭・指導保育教諭の役割		(1) 園の理念や評価に基づく取組の方向性を、日々の実践や子どもの姿と結び付けて、職員に伝えているか。	○				○会議や、昼礼で常に園の理念、保育の質の向上を目指し、日々の実践や子どもの姿を共通理解する場を設けている。 ○職員がより良い保育を目指せるように、個々の職員の思いを把握し、次のステップに向けたアドバイスをを行っている。
		(2) ミドルリーダーと連携して、個々の職員の思いを把握し、課題となっていることの背景や要因を整理しながら、日々の実践を促えるためのヒントを提示して、本人の気づきを促しているか。	○				
		(3) 保育教諭等の作成した記録や計画を基に対話しながら、次の教育・保育に向けた思いやアイデアを引き出し、イメージを明確にしていくことを支えているか。	○				
食育		(1) 教育保育目標・目指す子ども像に基づいた「食育計画」を作成しているか。	○				○自分たちで育てた野菜を使ったクッキングをすることができた。 ○離乳食の献立表を段階期ごとに作成し、見やすくなった。 ○人気メニューのレシピを保護者向けに発信している。 ★栄養士と担任と一緒に離乳食懇談を行い、園と家庭と連携を図っていく。
		(2) 衛生管理を確実にし、安全な食事提供を行っているか。	○				
		(3) 園児の発育・発達に応じた食事の提供になっているか。	○				
		(4) 子どもの食事環境や食事の提供の方法を常に見直し、改善しているか。	○				
		(5) 園の日常生活において「食」に関心を持たせる環境が整っているか。		○			
		(6) 食を通じた保護者支援がされているか。		○			

保健・安全指導	(1) 年間指導計画・月案に生かされるような具体的な保健指導を行っているか。		○		○職員会議で、安全計画の振り返りを行い、その後の保健・安全指導に活かしている。
	(2) 避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			○サプライズの避難訓練を実施し、いつ起こっても慌てず、避難できるようにしている。
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		○毎月保健だよりを発行し、家庭への啓発を行っている。
	(4) 園児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		○感染情報は、玄関掲示や、メールで保護者に知らせている。
園内研修	(1) 教育・保育要領を常に手元に置き、参考にしながら、計画・実践・記録(連絡帳・日誌・エピソード)を書いているか。		○		○職員の希望をもとに、外部講師に依頼し、園内研修を実施している。
	(2) 園内研修の計画は、職員が主体的に行っているか。	○			○エピソード記録の研修では、意見交流会をして、子どもの育ちを理解し、保育を高め合っている。
	(3) 研修の成果を日常の保育や運営に生かし、園児の安全や育ちに反映させているか。	○			
	(4) 公開保育等に積極的に取り組み、園児理解・保育の質の向上に繋げているか。		○		
外部研修	(1) 各種研修会や講習会に主体的・計画的に参加しているか。	○			○外部研修・ズーム研修を受講した時は、次の日の昼礼で、研修報告をして学びを共有している。
	(2) 受講した研修内容や学びを、園全体に研修報告として知らせているか。	○			
個人情報の保護	(1) 園児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○			○記事をブログ・園だよりに掲載するときは、複数人の目で不適切な写真がないか確認をしている。
	(2) 個人情報の保管は適切であるか。	○			
施設整備	(1) 園内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			○避難訓練を、計画に基づいて行っている。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○			○不審者対応では、様々な場面を想定して行っている。
	(3) ヒヤリハットを出し合い、職員全員が共有し、安全確保に努めているか。	○			○年に1回は、職員会議で、事故の検証を行っている。
	(4) 不審者に対応する周知な配慮を行っているか。	○			
小学校等との連携	(1) 連携・接続のため、日常的に情報を交換し、それを連携・接続に生かしているか。		○		○年長及び卒園児も含め積極的に情報交換をしている。
	(2) 指導者同士が打ち合わせを行い、子ども理解や互いの教育・保育に対して理解を深め、共通理解を図っているか。	○			★うまく連携のとれない小学校があった。
家庭・地域社会との連携	(1) 遊びの重要性や保育の意図を保護者に理解してもらえるように、発信しているか。		○		○「おうちえん」動画配信サイトで、保護者に普段の子どもの様子を配信している。
	(2) 保護者アンケートや意見を貴重な資料として、次の教育・保育に反映させているか。	○			★コロナ禍で中断してしまっている地域行事を再開させ、交流を進めたい。
	(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	

子育て支援の推進	(1) 地域の子育て家庭が親子で遊ぶ場を設定しているか。	○				○子育て情報誌で広報し、地域の子育て支援を行っている。親子のふれあいの場、保護者同士の親睦を目指して、心も体もリフレッシュできる場を作っている。 ○ソーシャルワーカーを中心に、他機関との連携を密にして、子どもの育ちを見守り、保護者支援を行なっている。
	(2) 話しやすい雰囲気のもと「子育て相談」を実施しているか。	○				
	(3) 医療機関・児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
情報発信	(1) 園だより・入園のしおり・HPなどで園の情報を発信しているか。	○				○園だよりの地域配布は、子育てを地域で支える風土作りに役立っている。
外部評価	(1) 第三者評価を受審し、園運営に反映しているか。	○				○地区民生児童委員や園庭開放等で来られる保護者、評議員から多数の意見をいただき、園運営に活かしている。
	(2) 地域の意見や要望を園運営に反映しているか。	○				

注1:具現化(目標や理想を具体的に実現すること)